

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

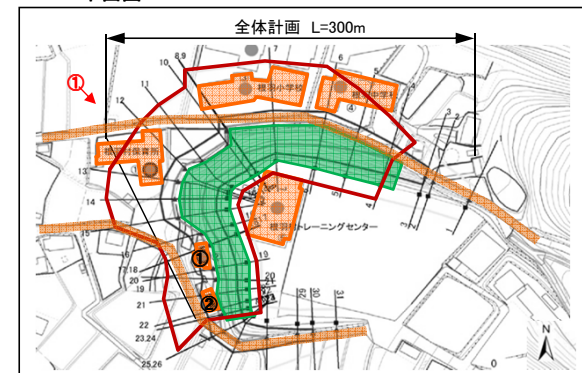
事業名		急傾斜地崩壊対策事業		路河川名等		(急)田島	
事業毎の通番		3		市町村名		根羽村	
事業目的		当箇所は根羽村の各種施設が集まる田島地区に位置し、最大高さ27m、勾配34°の急斜面であり、保全対象として人家2戸、要配慮者利用施設である根羽村保育所、根羽小学校、根羽中学校及び指定避難所である根羽村トレーニングセンター等が存在する。対象斜面は風化による侵食も進んでいることから、崩壊による保全対象施設の人的被害の危険性が高い。このため早急に対策を講じ民生の安定を図るものである。		箇所名(ふりがな)		田島(たじま)	
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法	
関連する事業、計画等		根羽村地域防災計画					
保全対象・範囲 受益対象・範囲		保全対象: 人家2戸、根羽村保育所、根羽小学校、根羽中学校、根羽村トレーニングセンター【避難所】、村道					
着手年度		平成29年度		事業期間		5年間	
完成年度(見込み)		平成33年度		費用対効果		9.3	
全体事業内容(主な工種)		法面工 L=300m		事業費(千円)		300,000	
年度事業内容(主な工種)		・地形測量 1式 ・地質調査 1式 ・詳細設計 1式		財源内訳(千円)		15,000	
				国庫		135,000	
				その他		30,000	
				県債		121,500	
				一般財源		675	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		急傾斜施設整備による土砂災害特別警戒区域指定の解除			
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数: 2戸 ○公共施設数: 6施設 ○要配慮者利用施設の有無: 有 ○避難場所、避難路の有無: 有					評価
							B
重要性		○過去の災害履歴: 無 ○交通遮断による地域経済への影響: 中 ○地域防災計画上の位置づけ: 有					評価
							B
効率性		○費用便益比(B/C): 9.29 ○事業期間: 5年間(H29~H33) ○工法等の比較検討: 無					評価
							B
緊急性		○斜面の高さ: 平均高さ20m Hmax27m ○斜面平均勾配: 34° ○地質: 崩積土 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形: 無 ○植生: 普通 ○保全対象の位置: がけ下、がけ上両方にある					評価
							B
計画熟度		○事業情報の共有: 関係者以外にも周知 ○地域の取り組み: 積極的な取り組みがある ○地域の合意形成: 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働: 地域独自の取り組みがある					評価
							A
部意見		保全対象に人家2戸、災害時要援護施設1棟、小学校、中学校、避難所である根羽トレーニングセンター等がある。斜面は風化による侵食が進んでおり、早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		平均高さ20mの急斜面が風化等により不安定な状況で、斜面が崩壊した場合の保全対象に人家、村道、小中学校、保育所、指定避難所があることから、必要性は認められる。	
						評価結果 総合評価	
						○ A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

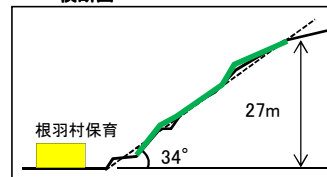
位置図



平面図



横断面



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、最大高さ27m、勾配34°の急斜面であり、保全対象として人家2戸、根羽村保育所、根羽小学校、根羽中学校、根羽村トレーニングセンター等が存在し、要配慮者利用施設である根羽村保育所が土砂災害防止法の特別警戒区域に入っている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	例年根羽村より要望があげられている。平成28年6月下伊那土木振興会提言書の提出
③事業説明等の経緯	平成26年2月土砂法説明会開催
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	根羽村地域防災計画
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	根羽村の各種施設が集まる地区に位置するため、詳細設計時に配慮について検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	急傾斜地崩壊対策施設の設置により要配慮者利用施設の安全が図られ、地域防災力の向上に寄与する。
⑦その他	急傾斜指定地申請予定

事業代表地点の緯度経度
北緯: N 35° 14' 5193"
東経: E 137° 35' 1463"